ほやほや

福井赤十字病院

理　　念　人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針　◎患者様の人権と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を遂行します。
◎医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します。
◎地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療の提供に努めます。

NEWS　病院機能評価の認定を取得しました！

福井赤十字病院では、病院の基本方針のひとつである「医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します」を遂行する上で、この病院機能評価の認定取得を目標に掲げ、平成14年4月より約1年間かけて業務改善に取り組み、平成15年5月19日に認定を取得しました。

日本医療機能評価機構
＜認定ロゴマーク＞

評価の内容は、病院の組織的基盤と運営・管理、診療及び看護の質、利用者の方の安全確保、プライバシーと人権の尊重、地域における役割の遂行などがあり、書類審査と訪問審査が行われました。この審査を受けるにあたり、病院で勤務するものがそれぞれの立場で「医療の質の向上」ということを真剣に考え、さまざまな業務改善に取り組みました。一例を挙げますと、①患者様の権利についての講習会の開催、②カルテの記載内容の監査、③業務マニュアルの整備、④院内救急体制の訓練、⑤院内環境の巡視、などを行いました。

今回、認定取得という目的は達成できたわけですが、それは基本方針を達成する上での通過点にしか過ぎないという認識を持ち、今後も病院を利用される方々を中心とした医療の質の向上に努めてまいります。

※病院機能評価とは、財団法人日本医療機能評価機構（厚生労働省や日本医師会などの公的団体からの出資により設立され、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、改善を支援する団体）が行う認定制度です。この認定を受けることにより、質の高い病院であることが認められます。

特集　夏のお肌トラブル　皮膚科医師から

酒井利恵 医師

猪口奈緒子 医師

日焼け

日焼けは、太陽光の中の紫外線による急性傷害です。慢性的に紫外線を浴びた場合には光老化や皮膚癌（ひふがん）などに関与します。これには、オゾン層の破壊や、平均寿命が延びたことによって生涯に浴びる紫外線の量が増えていることも関係してきます。そこで、紫外線による悪い影響を防ぐには、赤くなるような日焼けをしないことが大切です。また、紫外線を浴びる部位には日焼け止め化粧品（サンスクリーン剤）を使用して、過度の紫外線から皮膚を守るのもひとつの方法です。

赤くなるような日焼けをしてしまったときには急性炎症をおさ

あせも

あせもは、夏に多い皮膚病で「汗疹（かんしん）」の俗名です。一般に体幹で衣服に擦れることが多い部位にできやすく、乳幼児、小児では顔面にもよくできます。あせもは、汗の流れが閉ざされることによって起こる疾患で、部位によって、症状も変わってきます。エアコンの使用により発汗の必要性をできるだけ少なくし、シャワー、入浴や汗をこまめに拭くなどの生活環境の改善と同時に薬物療法の必要性がある方もいらっしゃいますので、ご相談ください。

水虫

水虫の原因である白癬菌（はくせんきん）は、湿気を好みます。そのため、ケアには湿気を避けることが大切になってきます。実験的に白癬菌を皮膚に塗布したとしても容易に感染しないことなどから、水虫になる条件のひとつとして、白癬菌との慢性的な接触が必要と考えられています。

ですから、あやしいなと思ったときは、足など水虫になりやすいところを乾燥したタオル等で拭くことが一つの予防になります。また、水虫などを生じやすい糖尿病などの基礎疾患の治療も大切です。

Topics（トピックス）

福井赤十字病院市民公開講座開催後記

5月31日（土）に福井赤十字病院市民公開講座を開催しました。今回は、「骨と関節の慢性疾患」という演題で、整形外科部長の高木治樹が、骨粗鬆症、関節リウマチについて、写真などを使いながら分かりやすい内容でお話をさせていただきました。

当日は、台風の影響で強い風が吹いているにも関わらず、当講座始まって以来の多くの方にご出席いただきました。

骨粗鬆症や関節リウマチの診断や治療方法、また、予防方法などの説明がされていく中、出席者の方々はしっかりと耳を傾け、分かりやすい説明があれば、納得したように頷きながら、時折、メモをとるなど熱心な様子が伺えました。また、講座終了後、骨密度を測定するコーナーでは、簡単に骨密度を測定できるとあって大変人気が集まり、長蛇の列ができました。次回は、8月23日（土）に「空飛ぶ町医者の楽しく老いるヒント」を演題として開催を予定しておりますので、どうかお気軽にお越しください。

【お問合せ先：企画課】

行事予定 7・8・9 月分

●幼児安全法支援員養成講習（3日間）

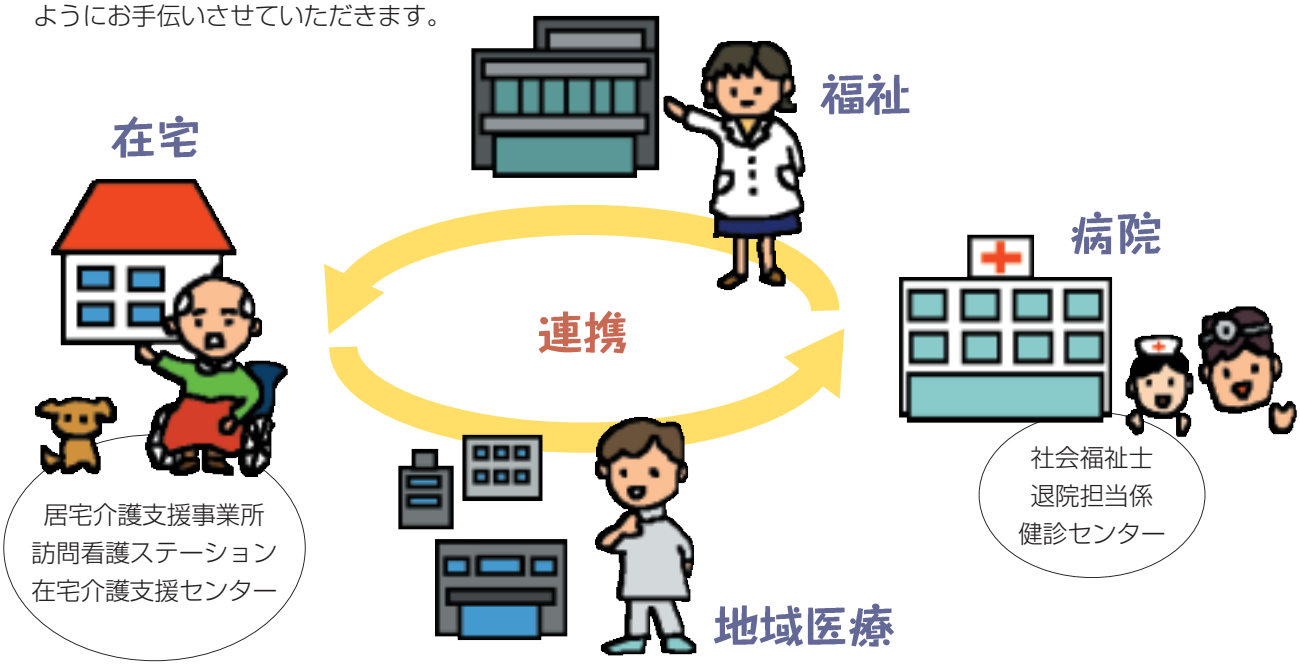
日時＆内容：8月23日（土）「こどもについて・観察・人工呼吸法・心臓マッサージ」
：8月30日（土）「気道内異物除去・止血法」
：9月　6日（土）「こどもの病気と看病の仕方・社会資源の活用」
9:00～15:00
場　　所：日本赤十字社福井県支部3階　大会議室

●福井赤十字病院市民公開講座

日　時：8月23日（土）14:00～16:00
演　題：「空飛ぶ町医者の楽しく老いるヒント」
講　師：藤井医院　藤井康弘　先生
場　所：栄養管理棟3階　講堂

部門紹介 医療社会事業部

医療社会事業部では、医療・保健・福祉との連携を図り、おひとりおひとりが地域で安心して暮らせるようにお手伝いさせていただきます。



わたしたちが医療社会事業部スタッフです！

居宅介護支援事業所
介護保険のことなら
おまかせください！

向嶋医療社会事業課長
多岐にわたる部署です
が、野口医療社会事業部
長以下総員20名、日々頑
張っております！

訪問看護ステーション
在宅療養しっかり
サポート！

**社会福祉士・
退院担当係**
入院・外来の
福祉のことなら
おまかせください！

在宅介護支援センター
みのり地区の
福祉の総合窓口

健診センター
生活習慣予防
疾病の早期発見！
早期治療！

その他の活動

○病院ボランティア・・・自ら心豊かになるためにあなたも是非（募集中）！
○常備救護班・・・災害時いち早く救護活動ができるように日々鍛錬！
○家庭看護法・幼児安全法・・・家庭における介護のコツ、いっしょに学びませんか？

福井赤十字病院　新本館　平成16年3月開院！

～新本館の特色～

はじめに、新本館建設に多方面からのご援助をいただきありがとうございます。

福井赤十字病院は、理念・基本方針に則り「良質な医療の提供」のみならず「快適な療養環境の整備」を大綱とし、地域のみなさまのニーズに重点をおいて新本館建設計画を立てました。

新本館の特色としまして、診察室はプライバシーが守られるよう個室化。１階の外来待合スペースを現在の2倍の広さに。診察を迅速化するため電子カルテを導入。また、万一の大規模災害時に対応するため、ヘリポートの設置などがあります。

現在、全工程の約7割を終え、新本館の内装、外壁のタイル貼りが最終段階に入っています。シンボルマークである赤十字マークもお目見えしました（写真）。どうぞみなさん平成16年3月の開院を楽しみにしていてください。

～新本館移転の予定～

平成16年1月～2月	備品搬入・新業務訓練・総合リハーサル
平成16年2月21日（土）	竣工式
平成16年2月24日（火）・25日（水）	内覧会
平成16年2月28日（土）～3月1日（月）	外来引越し （3月1日(月)は休診となります。ご了承下さい。）
平成16年3月　2日（火）	外来稼動開始
平成16年3月　6日（土）・7日（日）	病棟引越し
平成16年3月　8日（月）	病棟稼動開始

回復期リハビリ病棟　設置のお知らせ

平成15年6月1日より、5病棟3階に回復期リハビリ病棟を設置しました。

当院に入院中の下記の状態にある患者様を対象に、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、MSW等が共同でプログラムを作成し、それに基づきリハビリテーションを集中的に行うことを主な目的としています。

＊対象となる患者様の状態

①脳血管疾患、脊髄損傷等の発症後3カ月以内の状態

②大腿骨頸部、下肢又は骨盤等の骨折の発症後3カ月以内の状態

③外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後３カ月以内の状態

④上記に準ずる状態

編集後記

いよいよ夏本番です。みなさんは夏バテなどされていませんか？わたしたち広報委員はモチロンのこと、病院職員一同は紙面でお伝えしたように、「病院機能評価」の認定を受け、ますます張りきっています。

今回の「ほやほや」の特集は夏の日差しや蒸し暑さからくる皮膚のトラブルについての対処法です。是非、参考にして健やかにお過ごしください。

広報委員　T.T

☆ご意見・ご感想は広報委員会事務局（総務課）まで。

「ほやほや」第5号
2003.7発行　広報委員会

福井赤十字病院
〒918-8501福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630（代）　FAX.0776-36-4133
URL:http://www.fukui-med.jrc.or.jp/
E-mail:webmaster@fukui-med.jrc.or.jp